

# 自分でできる宅地点検

## —余震・大雨に備えて—

仙台市より 被災地の皆様へ

今般の東日本大震災により被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。

皆様もご存じのように、今回の地震は、牡鹿半島沖を震源とする日本観測史上最大のマグニチュード 9.0 を記録する非常に強い地震でした。これに加えて沿岸部では、大津波による壊滅的な被害をもたらしました。

仙台市でも、津波のほか、道路や電気、ガス、水道などのライフラインの切断、地すべりや崖崩れの発生など被害は、多岐にわたっております。中でも宅地に関する被害は、その数も多く、被害が軽微な宅地でも、今後発生する余震や大雨により被害が拡大する危険性があります。

このような未曾有の災害に対しては、仙台市だけではなく、市民の皆様にも参加していただき一体となって復興に向けた取り組みを行う必要があります。

このリーフレットでは、専門的な知識のない方でも、今後どのような危険性があるのかをわかりやすく解説し、皆様が身近で手に入れられる材料を使った簡易な観測方法と判断基準、ならびに大雨に対する備えを紹介します。



(1) がけ崩れ

(2) 地すべり

(3) 造成地斜面変状

出典：国土交通省 HP および 新潟県五泉市 HP より

## 大雨や地震による地盤のこわれかた

- (1) がけ崩れ：急峻ながけの一部が崩落する現象。急激に起こる。
- (2) 地すべり：自然地盤内で発生する滑り面をもつ崩壊現象。比較的ゆっくりと起こる。
- (3) 造成地斜面変状：宅地造成などの人工改変によって出現する斜面において発生する崩壊現象。おもに盛土内で発生する。斜面勾配がきついと急激に発生する。(⇒地山と盛土の境界に沿うような大きな崩壊(滑動崩落と呼んでいる)と盛土表面近くの比較的小さい崩壊に大別できる。どちらも宅地に被害を与える)

梅雨時の大雨や余震時の震動によって、亀裂が大きくなり、宅地盛土が崩れる危険性があります。



## 亀裂の応急処置

亀裂の進行を防ぐため、簡易対策として『ブルーシートによる養生(止水)』、『セメントミルクやモルタル充填によるクラック埋め』が考えられます。簡易対策をおこなっていても、今後の安定性の確認は必要です。次に、簡易安全度判定をおこない、安全性を調べてみましょう。



(1) ブルーシートによる宅地亀裂の防護 (2) セメントモルタル充填による亀裂の防護

出典：「被災宅地の調査・危険度判定マニュアル -参考資料-」より

応急処置用品(ブルーシート)は、**開発調整課**において**無料**で配布します。

**仙台市都市整備局開発調整課 電話：022-214-8344**



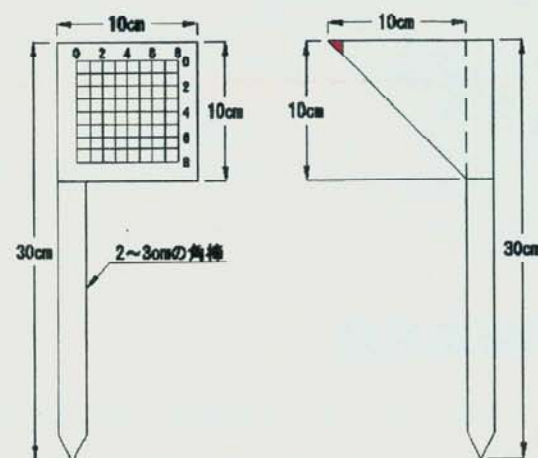
# 簡易対策と簡易安全度判定を実施しましょう。

## 安全性を判定するための簡易測定方法

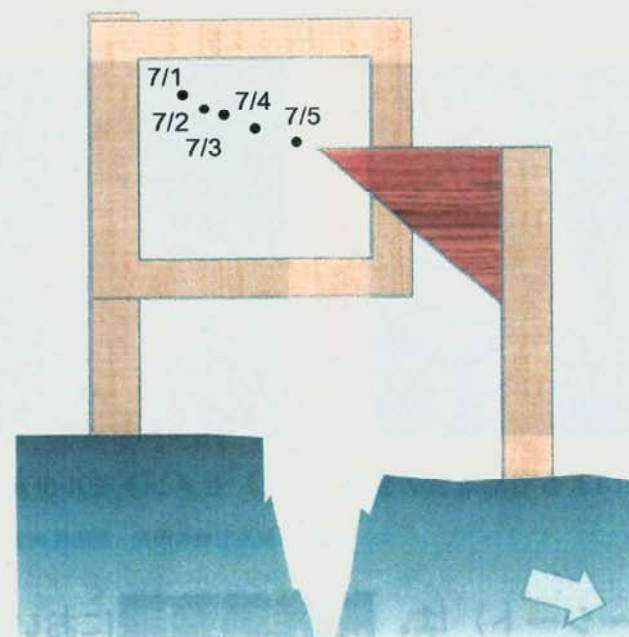
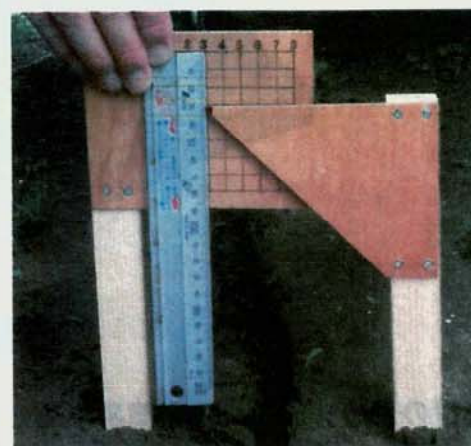
今後の宅地安定性を判定するため、地面や擁壁に生じた亀裂を自分で測ってみましょう。

### ① 宅地地面の亀裂の測定（角材とベニヤ板を用いた方法）

- ・地面の亀裂の変位は、亀裂が開く水平方向と段差が出る鉛直方向があります。
- ・亀裂を挟んで目盛を付けた板（四角）と変位を見る板（三角）を地面に設置します。
- ・水平方向と鉛直方向の数値を読み取ります。



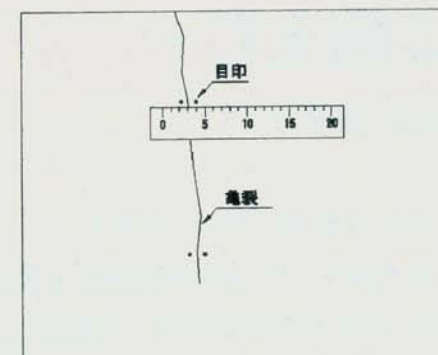
地面の亀裂の測定方法



毎日、一定の時刻にマジックで印をつけて、月日を記入する。  
この点の間隔を定規で測る。できれば写真を撮る。

### ② 擁壁に生じた亀裂の測定

- ・擁壁に生じた亀裂は、開き幅を測定して亀裂の進行度合いを測定します。
- ・亀裂の両側に油性マジック等で目印（点）を付け、定規で間隔を測ります。



毎日続けて間隔を測り  
メモしておいてください。

擁壁の亀裂の測定方法

簡易測定器は、**開発調整課**において**無料**で配布します。

## 測定結果から安全度を判定しましょう。

「地面の亀裂」または「擁壁の亀裂」が…

1日当たり**1cm未満**の広がりや幅が**5cm未満**の亀裂は、すぐには崩れませんが、ブルーシートなどで覆うか、亀裂にモルタルなどを詰めて、直接、雨水などが亀裂に浸透しないようにしてください。

**1日当たり 1cm 以上広がった場合** または、  
亀裂の幅が**5cm に達した場合** には、  
**すぐには崩れませんが**、引き続き注意深く観察が必要です。  
市役所の**開発調整課**に連絡してください。  
**担当者がお伺いして安全を確認いたします。**

**1日当たり 2cm 以上広がった場合** または、  
亀裂の幅が**10cm に達した場合** には  
すぐに**崩れる可能性が高いので一時的に避難し**、  
市役所の**開発調整課**に連絡してください。  
**専門家がお伺いして詳細に調査します。**

注意

警戒

仙台市都市整備局開発調整課 電話：022-214-8344